

## ロボットプログラミング体験教室 開催報告

1. 開催日時: 令和7年10月12日(月・祝)9:30~16:30
2. 開催場所: 尼崎商工会議所 701会議室
3. 参加者数: 午前の部: 14名(1名当日キャンセル)  
午後の部: 12名(3名当日キャンセル)  
合 計: 26名  
学 年: 4年: 6人、5年: 10人、6年: 10人

### 4. 開催の様子:



阪神ロボカップジュニア協議会  
島谷会長より開会の挨拶をいただいた。



尼崎市立尼崎双星高校 櫻木様より、  
「宇宙科学部とプログラミング」をテーマに  
講演いただいた。



参加した小学生は尼崎市立尼崎双星高校  
情報技術部の生徒にプログラミングについて  
教わった。



実際に組んだプログラミングで、  
ロボサッカー体験を行った。

### 5. 内 容

#### 【講演について】

尼崎市立尼崎双星高校の櫻木嘉典様より、「宇宙科学部とプログラミング」と題し、同校の宇宙科学部がプログラミングを用いて活動を行っている様子や、あらゆるところでプログラミングが活用されている様子について講演いただいた。

### 【体験について】

尼崎市立尼崎双星高校の藤井先生と情報技術部の学生が、参加した小学生にプログラミング指導を行った。イー・ガジェットを使用し、ライントレースやラインセンサーの体験を実施した後、1試合3分間のロボサッカーの試合を行った。

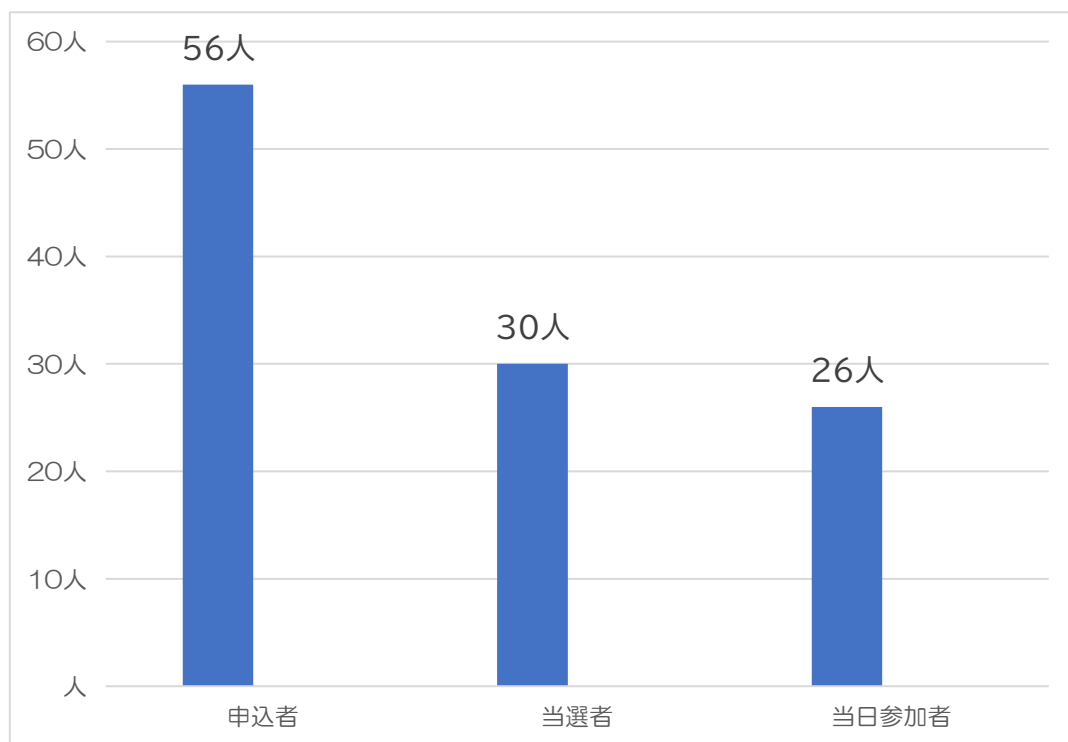
参加者アンケートの結果、「将来、プログラミングに関わる仕事に就きたい」や「プログラミングを活用してロボットを作りたい」といった回答が寄せられ、事業を通じた効果がみられる。

一方で、課題として、今年度は体験内容が昨年同様に1種類のみとなり、参加者が以前のように複数の体験を行うことができなかった点があげられる。

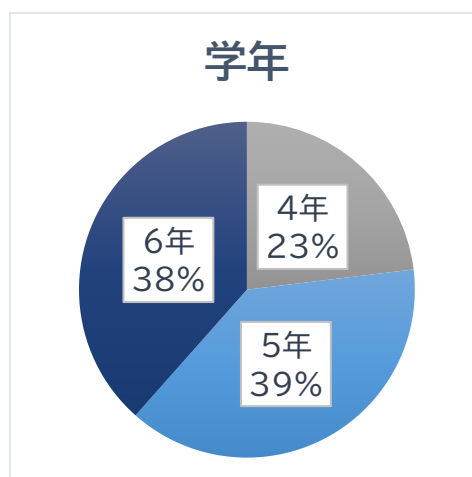
次年度以降は、参加者がより多く体験いただけるよう、企画・調整を行う。

## 6. 応募者情報

### ① 応募件数及び当選率



### ② 学年

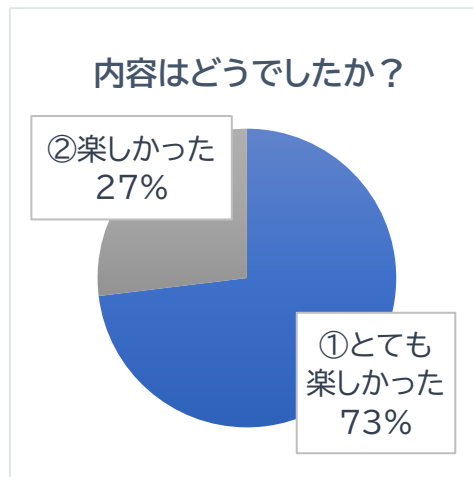


## 7. アンケート内容

① 誰ときた？



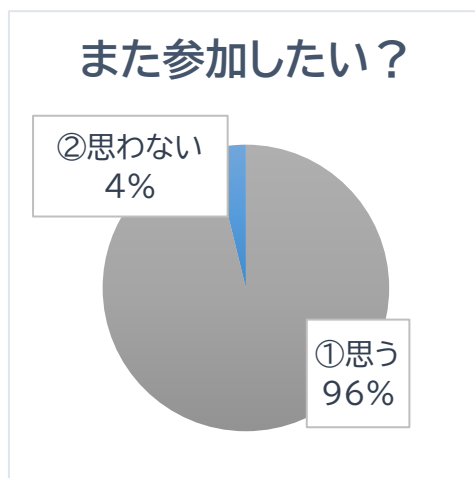
② 内容はどうでしたか？



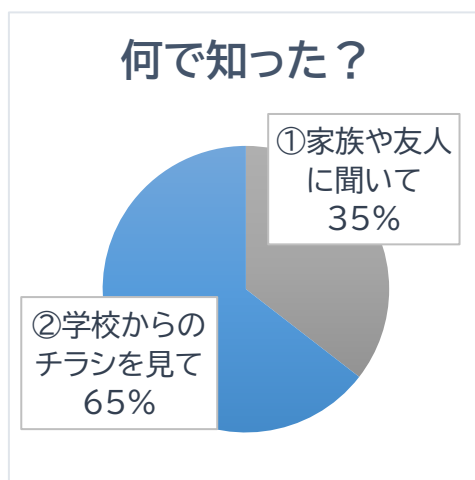
③ 今日の内容以外でプログラミングを使ってやりたいことはありますか？

・ゲーム作成	11件
・ロボットを早く動かせるよう、プログラミングを学びたい	2件
・ロボット作成	2件
・将来、プログラミングに携わる仕事に関わりたい	1件
・ドローンのような空を飛ぶ機械を作りたい	1件
・プログラミングを使って新しいものを作りたい	1件
・音声認識するプログラミング作成	1件
・自動運転システムを学びたい	1件

④ 同じようなイベントがあれば、また参加したいと思いますか？



⑤ 今回のロボットプログラミング体験教室は何で知りましたか？



以 上